

7つの習慣J通信

創成館高等学校1学年
No.08

2018年9月19日発行

「7つの習慣J」8時間目の授業が終了致しました。今回の授業は、「終わりの形」を明確にし、それに向かって活動することは、人生を成功させるための重要な要因の一つであることを理解させました。それによって、自分も「終わりの形」を鮮明にして、物事に取り組もうという意欲が生まれる授業となりました。それでは、8時間目「**終わりを考えてから始める**」の授業をご報告致します。

◆8時間目の内容は…◆

《終わりを考えて始めるとは?》

生徒にとっては目の前の宿題や試験、部活動などに専念することで、日々充実していると思いがちです。しかし、真の充実感とは自分が望んでいる将来に向かって、一步一步前進しているときではないでしょうか? 燃え尽き症候群という言葉があります。一生懸命努力していたけれども、ある日気が付くのです。自分はいったい「何をしていたのだろうか?」「何でここにいるのだろうか?」「本当はこんな予定じゃなかった」など。これは、大人にとっても耳の痛い話ではないでしょうか? そうならないために、今すぐに人生の目的「終わりの形」をイメージすることが重要です。「終わりの形」を明確にし、それに向かって日々努力する習慣を身に付けることは、人生を成功させるために最も効果的な習慣です。

《終わりを考えずに始めるとは?》

授業では、「旅行に行くとしたら何を持って行きますか?」という設問をし、各自旅行に行く時の持ち物を書き出しました。次に、その旅行は「南極1週間の旅」であることを知らせました。そうすると自分が書いたリストでは事足りないことが分かります。生徒は、この学習を通じて「終わりを考えてから始める」ことの重要性が理解できたようです。

そして、旅行だけでなく、人生や物事に対しても、「終わりの形」をしっかりイメージしていないと、効果的な成果は出せないことを理解しました。

《人生の設計図》

プロの棋士として活躍している藤井聡太七段や卓球の石川佳純選手、フィギュアスケートの羽生結弦選手が、小学校6年生のときに書いた作文を紹介しました。それぞれ自分の将来の夢、つまり「終わりの形」をイメージし、その実現のためにどんな決意をしているのか、そもそも何のために夢を実現したいのかなどが書かれています。

このような自分の目標「終わりの形」があり、そこに至るまでのプロセスもイメージした物を7つの習慣Jでは「人生の設計図」といいます。



高校一年生七段 藤井聡太

《今週のチャレンジ》

さて、今回生徒が取り組むチャレンジは、

**将来の夢や実現したいことについて
「私の人生の設計図」というタイトルで作文を書こう!**

です。

わたしの気持ち

今回の授業でこれからのことを少しずつ考えなければと思いました。私は目の前のことしか見えず、先を考えることがあまりできません。これから目標を決め、自分がそのために何を必要とするか、その先を考えたいです。

部活や勉強を、どちらもきちんとしているはずなのに伸び悩んでいます。しかし、それはただすることだけにとらわれて、明確な目標がなかったからだと思いました。ただする、ただ頑張るだけではなく、これからはしっかりと目標を持って、自分がどう行動するか考えようと思いました。

目的がはっきりすることで、自分が取るべき行動の基準にもなるし、それを実行する気持ちも出てくると思った。終わりを先に想像しておくことで、何から始めればよいか、どうすれば効率良くできるか、などが明確になり、しやすくなると思った。

作文を書いているうちに自分がこれからどんな人間になりたいのか等が、はっきりするようになってきました。「しようと思う」などではなくて「する」とはっきりした言い方で目標をたてたいです。この作文で将来のことが決まるとは思いませんが、これからゆっくり考えていこうと思います。

今回の授業で学んだことは、終わりや目的を決めてチャレンジするという事です。自分が心に残ったのは、羽生選手の「感謝の気持ちを忘れない」ことです。長崎まで送り出してくれた母に感謝の気持ちを忘れず、活躍できるように頑張っていきたいです。そのためには、今日の作文をしっかり考えて書いて、今後の活動につなげていきたいです。

今、活躍している人達は幼い時、すでに将来を見据えていて、計画して行動できていて素晴らしいと思いました。自分はこういう職業に就きたいという夢はありますが、それまでの計画はあまり考えていませんでした。今日の授業で、ゴールから逆算して行動することが大事だと知りました。

将来の夢が決まっていなくても、1ヵ月後に〇〇ができるようになる、〇〇日までは〇〇を終わらせるなど、ちょっとしたことでもいいから目標を立てて生活することで、効率よくさらに充実した日々を過ごせるようになると思うので実践したいと思います。

私は今まで自信が持てなくて、夢や目標があっても「～したい」「～になりたい」と弱い言い方をしていました。でも今回の授業で断言することでもっとその目標に向けてのやる気が湧いてくるのではないかと考えました。今はまだ、大学に行きたいというだけで、その先を考えられていません。目標を考えてから夢を実現させられるように頑張ります。

<次の授業は…>

次回の授業は「一番大切なことを優先する」です。次回の授業は、「大切なこと」と「そうでないもの」を区別する力をつけるための授業です。「終わりの形」に最短距離で近づくことができるようになる習慣を学びます。

次回の授業をどうぞお楽しみに

リーダーシップ開発講座
7つの習慣J

〒854-0063
長崎県諫早市貝津町621番地
TEL 0957-25-1225
FAX 0957-25-1228
HP <http://www.sohseikan.ac.jp>